

## 編 集 後 記

今年が生研発足以来 10 周年を迎えたので、行事委員会の設置が教授総会で決まり、高橋武雄教授が委員長に推挙された。従来毎年、開所記念日である 5 月 31 日を中心として 2 日間、所内の公開と展示会が催されてきたが、今年は記念式典に加えて 10 周年誌の出版が企画された。この 10 周年誌の編集は渡辺要教授を委員長とする出版委員会に委任された。そこで、渡辺勝助教授（第 1 部）、鈴木弘教授（第 2 部）、尾上守夫助教授（第 3 部）、永井芳男教授（第 4 部）、関野克教授（第 5 部・10 周年誌編集委員長）と各部から 1 名ずつ、都合 5 名でこの小委員会をつくった。

この 10 周年誌は、10 年間の東大生産技術研究所の研究業績を記録するとともに、これらを公報して利用を願うのが主旨で、今後 10 年毎に巻を重ねていく目的で、今回「生産研究」の 6 月号として出版することにした。その内容は研究者の血の通った活きた報告書でありたいと考え、またすべての研究者とすべての研究を平等に取扱うことは、学問の自由に忠実な所以と信じ、この 10 周年誌の研究業績は研究室単位とし、その活動の中心となっている教授または助教授、並びにこれらに準ずる方々に執筆していただいた。

生研の研究機構は 5 部に分かれており、各部に専門

分野があって、研究室の研究を規制しているのであるが、専門分野は制度であり、研究室には研究者側からの自由があって、必ずしも専門分野と研究室とは一致しない。また一方共同研究、総合研究は最近ますます必要とされ、本研究所の目的の一つであるので、所内外を通じて、盛んに行われているが、大学におけるこれらの研究は、やはり、研究者および分担者個人個人に還元すべきであると考えた。それで共同研究、総合研究についても、できるだけ各研究室単位で、関係のある部分を執筆していただくことにし、共同研究、総合研究はそれらの題目を総合研究一覧表として掲げるに止め、むしろ研究母体としての諸研究会の活動を補足した。また中間試験についても同様の取扱いとした。

生研の 10 年の歴史を顧みて、忘れることのできないのは、第二工学部のことであり、第二工学部から生研への転換は苦難の時代であった。瀬藤象二初代所長の足跡は大きかったし、兼重寛九郎 2 代、星合正治 3 代、谷安正 4 代の所長の創業時代のご苦労も少なくなかった。福田武雄現所長の 10 年の歩みに加えて、前所長の回想録を特に御多忙中賜ったことを感謝する。

（関野記）

### 出版委員会

出版委員長	久保田 広	委 員	高橋幸伯	委 員	*(永井芳男)	専門委員	星野昌一
"	*(渡辺 要)		森 政弘		今岡 稔		斎藤成文
委 員	富永五郎		大島康次郎		西川精一	編 集 室	下村潤二郎
	*(渡辺 勝)		*尾上守夫		*関野 克		水野晴明
	北川英夫		黒川兼行		井口昌平	* 印 編集担当者	
	*(鈴木 弘)		福田義民			( ) 内は前任者	

第 11 卷 第 6 号

生 産 研 究

（本誌は生産技術研究所の研究報  
介誌として、毎月 1 回発行する）

1959 年 6 月 1 日 発行

頒価 250 円

編 集 者 久 保 田 広  
発 行 者 福 田 武 雄

印 刷 所  
発 行 所

三美印刷株式会社  
東京都千代田区神田多町 2 の 7  
東京大学生産技術研究所  
千葉市弥生町 1  
電話千葉(2) 0261(代表)